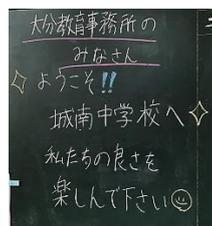


大分教育事務所訪問 35

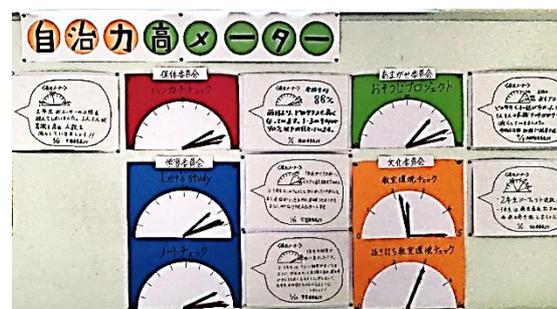
大分市立城南中学校から学ぶ

学校経営から学ぶ



学校の教育目標「確かな学力と体力を身につけた人間性豊かな生徒」を育成するために、「幸せを実現する城南中学校 ～幸せの具現化「共育実修」～」を合い言葉として、「生徒・保護者・地域との信頼関係の構築」「学力の向上」「新しい学校生活様式の確立を基にした健やかな心身の育成」を重点目標として組織的に取り組んでいます。

特に、「心の健康教育」に力を入れており、学年集会やふれあいタイムを計画的に行っています。また、体育大会が延期になったことを契機に、生徒会が「『共心協力』プロジェクト」として、団集会、縦割による合同学活、お掃除交換留学等、学級や学年を超えて行う活動を行うことで、生徒自身が「幸せを学ぶ、見つける、手に入れる」ことを実感しています。さらに、「自分を知ろうカード」を作成し、個人と学年の成長を確認しています。そのようなことからでしょうか、我々が訪問した際も、先生方や生徒達がとても温かく迎えてくれました。



さらに職員のベクトルを揃えるために、毎週金曜日に「職員室通信」を教頭先生が発行しています。内容は、学級経営の在り方等具体的なもので、まさに教職員と生徒の「幸せの実現」という校長先生の意を体するものです。(既に12号発行)。私自身も学びたいと思いました。

今後は、「学校経営計画表」にあるそれぞれの取組項目が、子ども達にどの「資質・能力(3本柱)」を育てるのかを明確にすることで(目的)、教職員や保護者・地域のベクトルが揃いやすくなります。そのことで、方法(手段)は担当者や生徒会に任せることができ、それぞれの当事者意識がより高まることが期待できます。

授業から学ぶ

どの教室も、全ての生徒が学びに向かい、困っている友達を助けていました。特に3年生は、男女関係無く自然と学び合いが行われており、それぞれの意見を肯定的に受け入れていました。



NO.170 2021年7月 大分市立城南中学校

自分と向き合う
最初は自分で考える。次に意見を交流し、議論に参加する。そして、最後は個人で振り返る。成長した自分を知るために。



NO.168 2021年7月 大分市立城南中学校

資料と向き合う
同じものを見ても、感じることや発見するものは違うから、学び合いが充実する。



NO.169 2021年7月 大分市立城南中学校

仲間と向き合う
対話をする事で、共通点や相手の思いが見えてくる。だから、共に成長する。

今後は、終末の「振り返り」で、生徒達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」とすることで、「ねらい」との連動や、評価規準がより明確になります。そのような、具体的な実践を日常的に行うことで授業力がより向上すると思いました。